

各 位

新型コロナウイルスに関する当社の対応状況について

新型コロナウイルスに関する当社の対応状況について、下記の通りお知らせします。今月7日に陽性と判明、9日逝去した当社役員（以下感染者）との濃厚接触者を2週間の自宅待機とするなど、感染拡大の防止に努めた結果、これまでのところ二次感染が疑われる事例は発生していません。

引き続き、感染拡大の防止に最大限注意しながら放送を維持し、地域の方々に情報をお届けできるよう努めてまいります。

記

〔濃厚接触者の体調について〕

○感染者と接触があったことで自宅待機となった役職員は、感染判明後保健所の指示により追加で自宅待機となった者を含め、検温の結果と体調の報告を義務づけてまいりました。感染者との接触は先月31日が最後で、14日をもって全員、自宅待機期間の「接触日の翌日から2週間」が経過しました。発熱や体調に異状のある者はありません。

〔役職員・スタッフの就業状況について〕

- 各部署で在宅勤務を推進し、できる限り出社人数を少なくするよう努めています。また、番組制作現場など在宅勤務が困難な部門においても、2班体制の勤務シフトや時差出勤など、各部署で工夫して感染予防への取り組みを強めています。
- 自宅待機が解除された者についても、可能な限り在宅で業務にあたっております。
- 37.5℃以上の発熱があった場合、インフルエンザ陽性が確認された場合を除き、解熱しても2週間自宅待機としています。
- 体調が芳しくない社員・スタッフは基準に満たない微熱の場合等も休むよう指示していますが、直ちに感染が疑われるような症状は確認されておりません。自宅療養中の社員・スタッフには特に詳細な体調の報告を指示し、注意深く経過を観察しています。

〔その他〕

- 今月3日から全ての入館者に非接触型の温度計による検温を実施しています。
- 既報のとおり、7日以降テレビ番組の収録を当面、見合わせています。
- ラジオは換気の徹底やアクリル板による飛沫対策、パーソナリティの絞り込みやリモート出演などの感染防止策をとって番組制作を維持しています。
- 特別な事情の場合を除いて外部からの当社社屋への立ち入りを制限しています。
- 専門業者による感染者の立ち入り箇所の拭き取り消毒は9日未明に完了しました。
- 電話交換業務はきょうから規模を縮小しており、時間によりつながりにくくなることが想定されます。視聴者センターの電話受付業務は14日から当面休止とし、メール等で対応しています。

以上